

経営比較分析表（令和6年度決算）

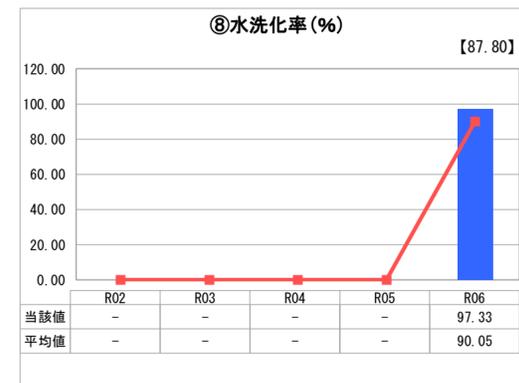
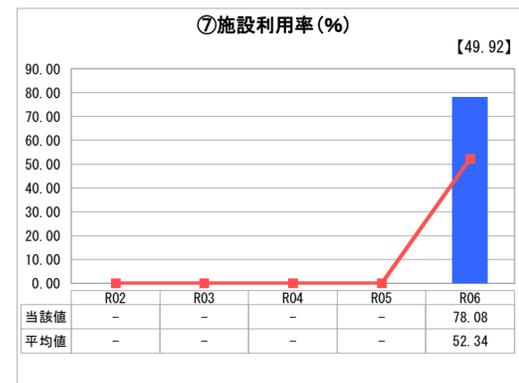
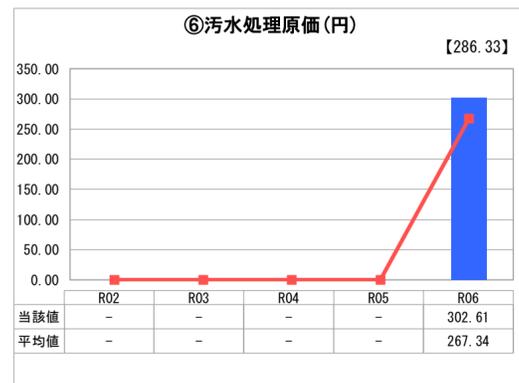
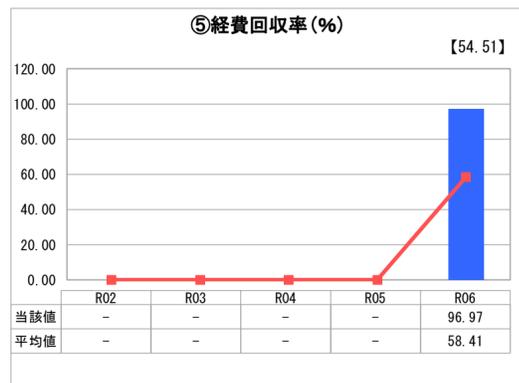
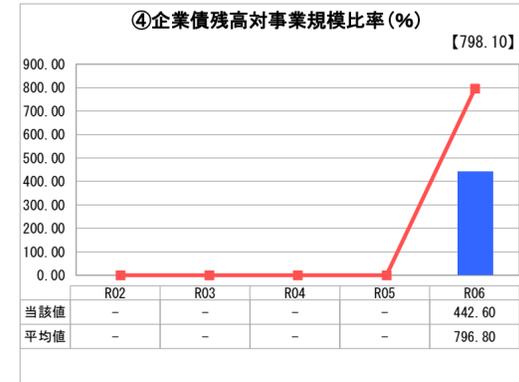
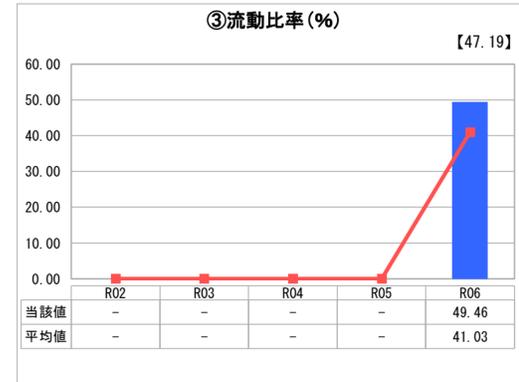
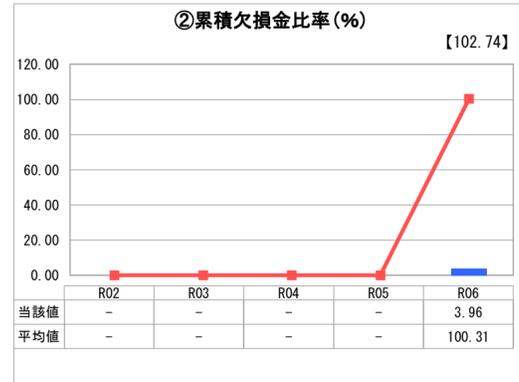
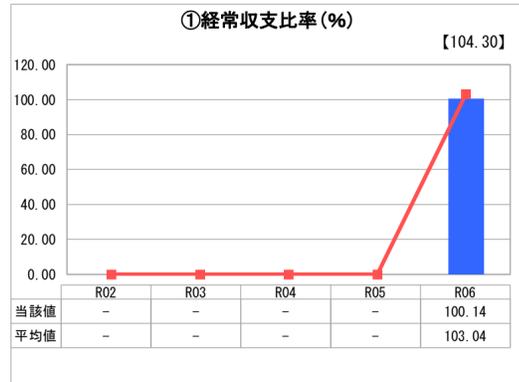
福井県 小浜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.41	24.73	75.83	7,975

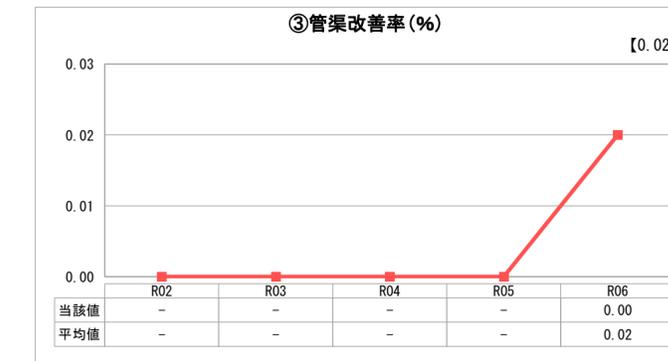
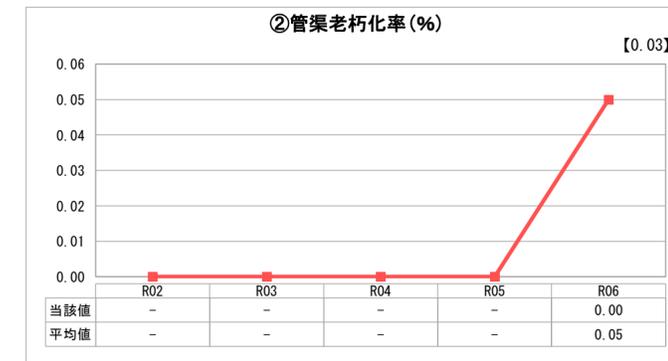
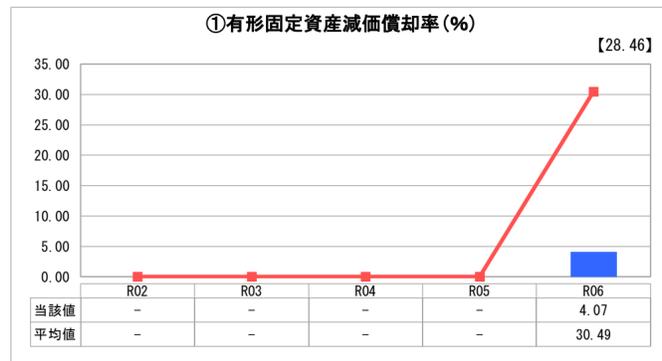
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,644	233.11	118.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,787	3.97	1,709.57

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

公営企業会計適用初年度の農業集落排水事業は、①経常収支比率は、類似団体平均より低いが、100%を超えており、日常的な維持管理に必要な経費については、料金収入等で概ね賄えている状況である。④企業債残高対事業規模比率は類似団体に比べて低いが、財務負担は依然として大きい。ただし、建設時に発生した企業債残高は年々減少しており、近年は平準化債を計画的に借り入れることで、一定額の資金の確保を図っている。

⑥汚水処理原価は類似団体と比べて高いため、維持管理費削減による汚水処理費の抑制に努める必要がある。

⑦施設利用率および⑧水洗化率は、建設当初に可能な範囲の水洗化を一括して進めた経緯があり、いずれも類似団体平均を上回る水準となっている。

また、本市の農業集落排水は使用水量ではなく、利用人数に応じて使用料を算定する人員制を採用している。さらに、1か月20m³当たりの家庭料金（人員割3人分相当）は類似団体と比べて極めて高い設定となっており、一定の使用料収入が確保されている。その結果、⑤経費回収率は97%に達しており、類似団体平均を上回っているものの、100%には達しておらず、他会計の負担金等に依存している状況といえる。

2. 老朽化の状況について

老朽化した設備や機械類については、これまで必要に応じて部分的な修繕を行いながら対応してきた。しかし、最も古い施設は昭和63年に供用を開始しており、経年劣化が進んでいることから、老朽化に伴う維持管理経費は年々増加している状況にある。

こうした状況を踏まえ、令和元年度には老朽化した施設を計画的に改築・改修するための最適整備構想を策定した。令和4年度以降は、この構想に基づき、機能強化事業等による施設の改築・改修を順次進めているところである。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、公営企業会計適用後初めての決算である。

経常収支は概ね良好である。また、施設利用率や水洗化率は高く、使用料収入も一定程度確保されているが、維持管理費が高い状況であることから、削減が必要となっている。施設は老朽化が進みつつあり、維持管理費が増加しているため、最適整備構想に基づく計画的な更新を進めている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。